

むるは、世俗にも脚が曲るなど申すが如く、其の強さに不當の重荷を負はしむるの道理にて、宜しからざることであります。又屢々倒るを危しと云ひて、常に之を助くるは益なきことにて、幼児自ら倒るゝ一回の經驗は、他より興ふる千の誠に優りて、自ら用心し氣を附くるに至ります。實に自ら行爲を制する如く訓練するの大切なるは長幼により違ふ所はありませぬ。

子のたけの伸びたはなしや初裕

兒童研究法

松本孝次郎講演

子供を研究するといふことは、學校幼稚園ばかりではなく、家庭ですることが甚だ必要です。

植木を愛する人は、植木のことをくはしく知れ

ば、知るほど、植木がかわゆくなり又おもしろくなり、又どう扱ふのがよいかと熱心に考へるやうになります。子供で考へても同じです。子供のことを研究すればするほど子供に對する同情が深くなり、興味を増し。又自分の取扱はどうすればよいかかわるいかといふことを十分考へるやうになります。ですから子供を研究するといふことが研究者の精神に及ばず結果は、

第一、幼兒に對する同情の念を増す事

第二、幼兒に對する興味を惹起す事。

第三、幼兒を保育するといふ事業に忠實になること。

であります。

さて研究せらるゝ幼兒の方はどうであるかとい

ふと、よく幼兒に適當した保育と教育を受けると

ができるといふ幸福があります。

この通り、児童研究といふことは、研究者にも被研究者にも利益があります。しからば其研究法はいかんといふに、それには二あります。即ち一は理論上からわり出したもの、一は實際上からわり出したものであります。

私はいま實際上から來たアール、パーンス氏の研究法に付て申しませう。この人の出しました報告に「スタディース、イン、エジューケーション」といふのがあります。それで其報告の中に説きました研究法は、理論的と云ふよりは實際的でありまして、實際研究するに便利なやうに説いてあります。此人の説き方に據りますと。

第一の研究の仕方は、家庭とか或は學校で以て毎日子供を觀察致しまして、材料を集むるとか、

即ち自然の儘に子供が生活して居ります所の様子を觀察致しまして研究すると云ふ法、それを第一として論じてある。それから、

第二の方法は、先づ種々と子供の書きをしたものをば澤山集めます。さうして後に書き物を見まして段々に其取調べの結果として、子供はどう云ふ考へを有つて居るか、どう云ふ性質のものと云ふ事を極めると云ふので、始めから自分の方に考へがあつて斯う云ふ事をやつて見やう、ア云ふ事をやつて見やうと思はず、自然に集めたるものから研究の結果を見出さうとして居る。

第三は児童期が通り過ぎて仕舞ふて。大凡一通りの教育を受けた位な學生。例へば師範學校の生徒位さう云ふものに向つて、自分の子供の時の事を想ひ起させ、前にどう云ふ經驗を覚えて居つた

とか、さう云ふ事が自分の記憶にはつきり遺つて居るとか、一人々々に想ひ出した事を言はすか、

書かせる。さうしてそれに因つて追懐致しました結果を集めて、それを土臺にして子供の時の事を研究して見ると云ふ方法が第三になつて居る。

第四には、子供に就きまして親が手紙を書いて友達に知らしてやるとか、子供の様子に就て親とか兄弟が雑誌に書いた事があるとか、凡て或一個の人が子供に就て私に他の人に知らすとか、公けに知らすとか云ふ事で書いた手紙を寄せ集めて子供の研究をやらうとか、これは親しい友達の間などは自分の子供に就ての記事を書いて知らすとか云ふやうな事もあり、或は相談して見ると云ふ事もありますから、極く事實が飾らずに有りの儘に書いてあると云ふ所から確かな記事を得られ

ますから、さう云ふものを集めて研究するのを第四の方法として居る。

第五には、日本などには餘りありませんが、自分の事を自分自ら傳記としてかいたもの例へば福澤さんなどは自分の事を自分で思ひ出るまゝに自叙傳と云ふものを書いた。亞米利加などでフランクリンの自叙傳とか云ふやうに自分自ら自分の事を書き記したものがあつた。其自叙傳の中に在る兒童期の事柄を取調べて見ると研究の材料となる。日本などにした所で、昔の随分エライ人達の傳記などに就ての記録などもありませうけれども、自分で以て記録したものは甚だ少ない。それであるから日本ではさう云ふ類のものを集つむる事は六ヶしいが、福澤さんなどの如き非常の人物の自傳も出來て居るから、斯う云ふものもだん／＼得易く

なりませう。さうして學者とか豪傑とか實業家と云ふものゝ子供の時代の事を研究して見ますも、大變面白い事である。

第六の研究法は、文學とか美術などに關係のあつた人が、子供と云ふものに就てはドウ云ふ考へを有つて居るか、ドウ云ふ風に文學の上に現はれて居るか、美術の上にはドウ云ふ風に現はれて居るかと云ふ事を取調べて研究するも一の方法で、さう云ふ事もやる。

第七は、現在子供を連れて來て、其子供に直接に此方が當つて身體の試験をするとか、問を發して其子供の精神の作用を調べて見るとか、直接的の研究の方法と云ふものもあります。

第八には、詰り子供が小さい時から段々發育しますに日誌のやうなものを拵へて、發育誌とか、精

神發達史に就て子供の時の事を調べやうと云ふ方法もあります。

第九には、彼方此方から種々な問題を作つて置いて、其間に答へさせて見て、其結果を寄せ集めて比較して研究して見る。殊に師範學校の如き男も居れば女も居り、何方も同じやうな境遇の同じ位な程度の生徒などがありまします所ならば、餘程研究して見ても男女などを比較するに都合が宜い、男女を比較する事の出来る所では斯う云ふ類の研究法は面白い、之を第九として居る。

バアンスの研究の方法として説きてあるは、此九ヶ條であります。これは只今御話致します通りに決して學問的研究法ではありません。重みに實際上に都合の宜いやうなさう云ふ研究の方法だけを申したのでござります。又其學問上からし

て研究致します方法の事は別段此所に必要はござりませぬから、姑く實際上の方から見れば斯う云ふ種々の方面から研究して行く事の出来るもの云ふだけの御話をして置いて宜いと思ふ。

(以下次號)



ローランド夫人 (つゝき)

鄭越 生補譯

山嶽黨人は、更に進んで悉く反對黨殊にギロンド黨を撲滅し、以て己れ獨り全權を握らんとす、

然れども正義亡びたるにわらず、自由地に落ちた

るにわらず、之を以て、俄かに反對黨を糺弾し、訴追し、而して處罰せんか、反對黨員の抗議を惹き起し竟に人心自黨を去るの結果に到達せんも未だ知るべからず、されば速に其の目的を達せんには、一擧してキロンド黨員を屠り盡し、以て抗議の出づる處を梗塞し、人心兢兢々之を正義に顧るの違なく、突として事局を了し終らんに若かずとなし、即ち密に計を立て、曰く、反對黨員の議院にあるに乗じ、急に出で、之を襲殺し盡くすべし、四月十日の夜を期して之を實行せん。

時は維れ四月十日の夜、暮色漸く蒼然たるのとき、山嶽黨員はジャコピン俱樂部に集會し、囂々として議すること多時、竟にノートルダム寺院の警鐘を機として、隠謀を決行することなし、部伍を整へて、俱樂部を出發す、劍は腥く人は殺氣